

「平成 26 年度放課後児童クラブにおける食育に関するアンケート調査」

報告書

平成 27 年 1 月

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課

目 次

I	アンケート調査の概要・・・・・・・・	2
II	調査結果・・・・・・・・	3
III	自由記載・・・・・・・・	4
IV	考察・・・・・・・・	10
V	調査票・・・・・・・・	11

I アンケート調査の概要

1 調査目的

放課後児童クラブにおける食育の取組について、平成20年度調査からの変化をみるとともに、必要な支援を明らかにすることを目的とする。

2 調査方法

- (1) 対象：市内公設・民設放課後児童クラブ
- (2) 配布方法：社会福祉事業団、民設放課後児童クラブ研修会での配布、郵送による配布
- (3) 調査期間：平成26年6月2日（月）～6月30日（月）
- (4) 回収方法：FAX または返信用封筒による回収

3 調査内容 別紙のとおり（巻末に掲載）

4 結果の概要

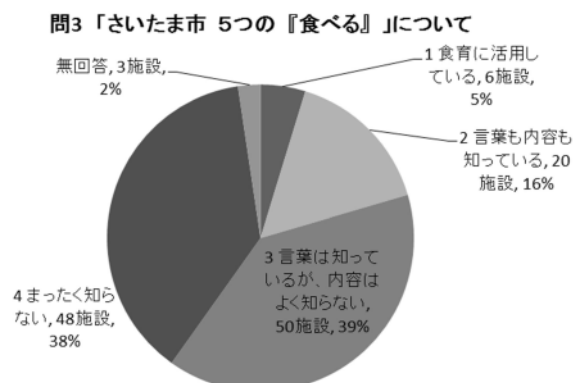
回収率

放課後児童クラブ	施設数 (H25.7 時点)	回収数	回収率
公設	74	69	93.2%
民設	108	58	53.7%
合計	182	127	69.8%

II 調査結果

問3 さいたま市5つの『食べる』について

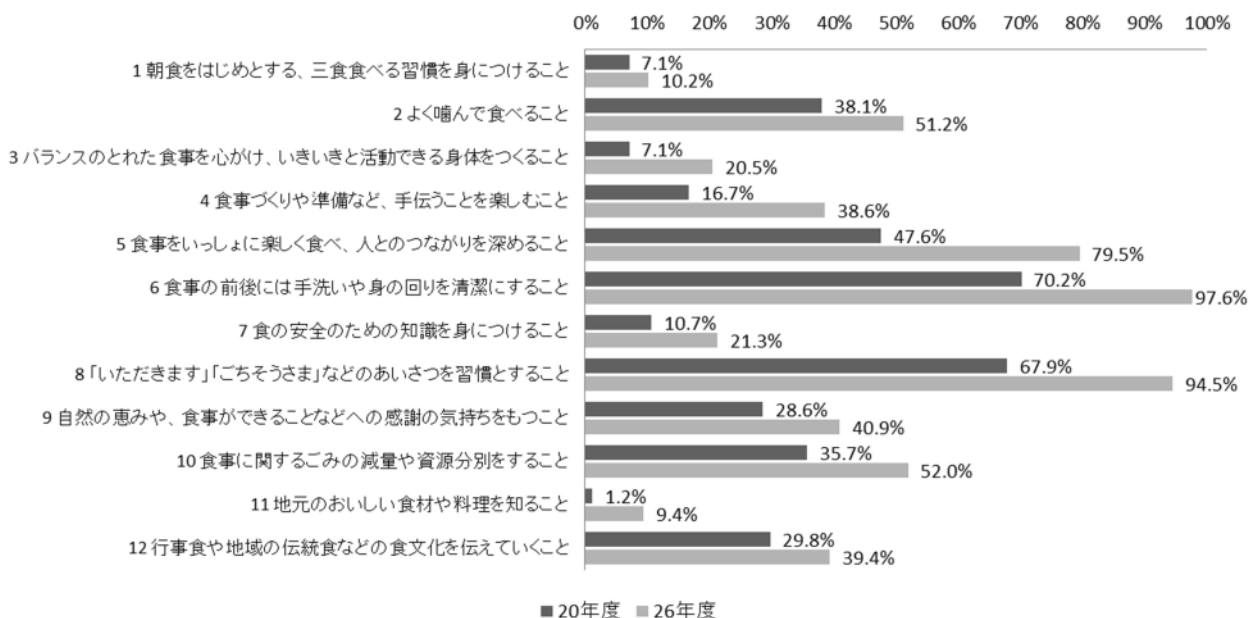
さいたま市 5つの『食べる』について、「食育に活用している」は6施設(5%)、「言葉も内容も知っている」は20園(16%)、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は50園(39%)「まったく知らない」48園(38%)、無回答3施設であった。内容を知っている園は約2割にとどまった。



問4 各施設での食育活動（平成20年度調査との比較）

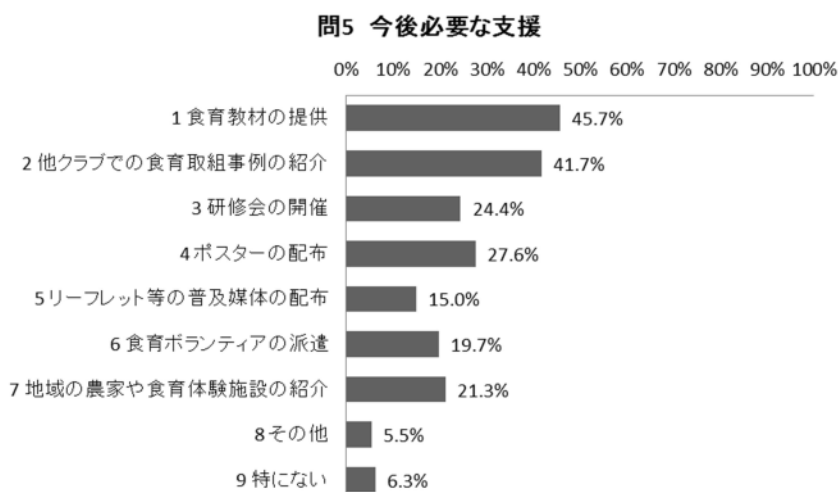
・各施設での食育活動は平成20年度調査と比べて、各項目とも増加していた。
 ・「5 食事をいっしょに楽しく食べ、人とのつながりを深めること」「6 食事の前後には手洗いや身の回りを清潔にすること」「8 「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつを習慣とすること」以外は、食育活動の実施割合は低く、特に「1 朝食をはじめとする、三食食べる習慣を身につけること」「11 地元のおいしい食材や料理を知ること」は約1割の施設のみが行っていた。

問4 放課後児童クラブで行っている食育活動



問5 今後の食育に必要な支援について

・今後必要な支援として、要望の多いものとして「1 食育教材の提供」「2 他クラブでの食育取組事例の紹介」が挙げられた。



III 自由記載

問6 その他、食に関して日頃感じていることや課題、取組、意見等

カテゴリ	記載内容
おやつ	日々のおやつは、手作りを提供できないので買って来たものを出すため内容が決まってしまうこと、
	・クラブではおやつを提供をおこなっていますが、みんなで楽しく食べることをやっています。・パンの専門店からパンを注文したりおだんご屋さんから注文をして食べさせたり、いろいろ工夫してやっています。
	・食育が大切なことは、感じており、おやつもお菓子だけでなく体によいものを考えてはおりますがなかなか難しいところがあります。
	クラブではおやつを食べているので、行事（日本伝統文化）や季節を意識して提供しています。食べる前の手洗い、食後の片づけ、掃除、おやつが入っていた袋を小さくしたりゴミを少なくするなど、毎日毎日、習慣となるよう声をかけています。感謝の気持ちで「いただきます」「ごちそうさま」をしています。子どもたちは皆、とても素直にきちんとできると、ご家庭の努力を感じています。
	・1日のおやつ摂取カロリー（約200kcal）を目安に献立を考え児童に提供できるように日々努力しております。
	・児童クラブでは、おやつを通して、食育の話をする機会が多いです。おやつを栄養バランスを考えながら提供するのは心がけてはいますが、難しい課題も多く、苦労しています。専門家にアドバイス頂ける機会があれば嬉しいです。 ・学生ボランティアの派遣、食育カルタの提供等、ありがたく思っています。子供たちも、また学生ボランティアのお姉さんたちが来室して下さると、とても喜ぶと思います。
児童クラブでは、毎日おやつを提供していますが、最近、おせんべい、などのかたいものを好む子が減ってきています。また、食べたことがないお菓子については、はじめから拒否をし、試しに食べてみようという子も少ないです。指導員は毎日、どんなおやつ内容にしようか、一生懸命考えているのですが、「それきらい」「いらぬ」という言葉が多く、残念に思っています。逆に、子どもが好むもの... となると、保護者側から意見がきそうで...。しかし、しっかり“食育”を実行することで、子どももかわってくれと思うので、夏休みなど、たくさん時間がある時に話していきたいです。	

カテゴリ	記載内容
	クラブでの食の提供はおやつに限りますが、子供達は今までに食べたことのないものや、知らないものに手を出さない傾向があります。
	カロリーを考え、甘い物にならないよう、小魚、チーズ等を積極的に取り入れるようおやつの献立を考えている。昔ながらのおやつは食べない子も多い。食べた事がなかったりして手がでないようだ。最近、おやつの大福をはじめて食べたお子様もいた。
	当クラブでは「おやつ」の提供しかしていません。衛生面、コスト面等の関係で、手づくりはしていませんので購入のみになります。味のバランス、子どもの好みなど等は考えやすいですが、毎日カロリー面、栄養バランスなどを考え提供していくのは、なかなかむずかしいと感じています。(なるべく考えるようにしていますが)
	児童クラブは、おやつを提供しているが、おやつなので好きなものを取っていただくように、量も個人差があるので、夕飯に影響がないように、量は控えめにと声かけているが、どうしても集団で楽しく食していると、沢山食べてしまう子もいます。甘い物が苦手な子がいたり、また、食物アレルギーでアナフィラキシーで、エピペンを常時持ってきているお子さんもいたり、個々に対応することが多いです。おやつとはいっても提供のし方にとっても注意を要します。おやつの内容成分を表示していけるように、今後取り組まなければならない課題です。
	食の経験が少ない児童が増えているように感じます。(食べたことがないものが多い。食べたことのないものは食べない。好きなものだけを食べるなど)。おやつに野菜、果物等も含め、いろいろなものを提供し、食べたことのないものでも一口だけ食べてみようと思いをし、食経験を増やす工夫努力をしています。
	長期休業（夏休みなど）以外はおやつのみ提供ですが、お子さんによって好みが全く違うことで、数種類のものを出しています。調理をクラブではできないので、おいしく体によくて、甘さをおさえたものがあれば教えていただきたいと思えます。おやつを購入する方法しかないので、ご家庭の食育まで、まだできていない状況です。
	いつもおやつが食べられることに感謝して食べるように言葉かけしています。楽しく会話しながら、おいしくおやつ、お弁当を食べています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつを友だちと一緒に楽しく食べることを第一の目的としていますので、幼児のおやつに対する考えと小学生（児童）とは違うと思います。量もさほど多くなくていいと思うのですが、どのようなものがあるのでしょうか？ ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをクラブで、しっかりとすることで、家庭でもしてくれることを願います。
	地域でとれた果物や野菜など、学童クラブのおやつとしてとり入れていきたいが、安全性やアレルギーなどの問題もあり、現在ではなかなかむずかしい。
	クラブでは毎日おやつを出す、「おやつ=甘いもの」にせず、おにぎり・そうめんなども出している。子どもたちの楽しみでもあるので、アイスやケーキも出している。また切ったりまぜたり焼いたりなどの手伝いができるようにもしている。
	おやつのメニューは、なるべく給食と重ならないように注意しています。甘味に偏ることなく、おかずの様なもの（やきそば、肉じゃが、チヂミ）も出しています。
	1年を通じてクラブでおやつを提供しています。数年前までは、食育を兼ねて、栄養や季節を考慮しての『手作りおやつ』も多く取り入れていましたが、今は、食物アレルギー児童の増加と食中毒等の発生予防のため、地域の和菓子屋さんやパン屋さん、生協や市場へ発注して配達していただく形に変更しました。毎月のメニューは、栄養バランス、量、季節感、子ども達の好み等を考慮して作成し、保護者からも好評を得ています。
	長期休み以外はおやつを提供していますが、予算的に厳しくなかなか食育まで考えて材料調達ができません。長期休み中の昼食は「いただきます」を大切にしています。
	昔ながらのお菓子（おはぎ等）をクローズアップしておいしくいただく工夫ができれば

カテゴリ	記載内容
	<p>と考えています。</p> <p>学童としては特に考えてません。大変遅くなり申し訳ございません。学童はおやつは手作りをやっていますが、昼食は学校給食のない時のみなので、食育という点からは考えていません。今後のことについては、深く考えていませんが宜しくご支援お願いいたします。</p> <p>駄菓子のような既に袋に包装されているものを毎回おやつに出すのは、成長に悪いのか知りたい。全員が同じ物を好きで、同じ物が苦手というわけではないので、1口でも挑戦して欲しいけど、やっぱりダメだ〜って時に余ってしまうものが出てしまう。たのしく食べられる声のかけ方などあったら知りたい。</p> <p>当クラブでは、毎日16時におやつの時間として子ども達にゆでじゃがいもやホットケーキなどの手作りおやつその他、ポテトチップスなどのおかしを出しています。その際は必ず「いただきます」をしてから食べるように取り組んでいます。毎日50人近くのおやつを用意するには、人手が足りてないのが課題です。</p> <p>週一回生協の宅配を利用していますが、おやつのリポーターがまんねり化してしまっている。</p> <p>学童保育は毎日「おやつ」を提供していますが、限られた予算の中で安心安全な食材をこころがけています。季節感を出す、行事に関する物を出す、又時には手作りの物（カレーライス、とん汁、メンチカツ等）を出すなど工夫しています。最近は食物アレルギーを持つ児童もあり、各々まちがえのない対応を心がけています。</p> <p>学童での食は主におやつになるので、そこをどう食育につなげていけるのかなと思います。</p> <p>一度のおやつの方が量が多いので、コープでまとめて頼んでいる。だいたい同じおやつになってしまう。もっと、リポーターが欲しい。</p>
朝食	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食をとっていないと思われる様子が伺える児童もいて、やはり気になります。 ・長期休みに毎日お弁当を持って来るが、栄養バランスが悪かったり、好きなものだけ入っていたりして、気になる時がある。 ・朝食をしっかり摂っていない子がいる。 ・母親の中に基本的な生活（朝きちんと食べさせ、夕飯前にはお菓子をひかえて、夕食を食べさせて早くねる等）をしようという意識のない方がいる。 ・朝食を摂らずに登校し(クラブ一日保育の日は登室)している子どもが数名おり、案じている。 <p>近年朝食を摂らずに日常過ごしている児童が多いことに驚きを隠せません。スナック等を食事の代わりにしていたり家庭での食育を見直す良い機会になってほしいと思います。</p>
弁当の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブで弁当持参の日の様子を見ると内容に偏り（ほぼ揚げもの・野菜なし）や、内容が乏しいものがあり、気になります。 <p>一日保育でお弁当を各自持って来るが色、量などいろいろ考えて作ってくる方と冷凍食品やバランス等まったく気にせず持たせてくる方といろいろで、その家庭（母親）の食生活が良くわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育というのは、食事一般（3食）の事だと思いますが、クラブでは、おやつのみを提供をしています。1日保育の時や学校の短縮授業時には、お家からお弁当を持参して来ますので、一緒にお弁当を食べる時に、おかずの様子を見つつ、お母さんが作って下さった事など話しています。しかし、お弁当のおかずなどはどのご家庭でも、冷凍食品が多いのが現状で、あまり手作りで心のこもったお弁当というのは、少ない気がします。きっと忙しいからなのではないでしょうか？私たちとしては、お弁当ぐらいは、心のこもったものを感じていますが…おやつも、クラブで手作りは禁止されていますし、調理師が

カテゴリ	記載内容
	居る訳でもないのに、一応既製品で着色、アレルギー対策など考えおこなっています。
保護者	<p>・クラブで預かりしている子どもの中には、(家族がそろっている時でも)ひとりで別の部屋でテレビを見ながら夕食をとるという話を聞くことがあります。家庭での食事の意味や子育てについてよくわかっていない親に働きかける活動をしていただけるとありがたいです。</p> <p>学童保育の中で食育を組み入れるには、教育的なものではなく、生活の中での経験を通して知っていったり、おとなとの会話の中で自然と身についていくという形です。子ども達の食に対する感覚は身近なおとなの食に対する感覚が大きく影響していると思います。</p> <p>夏休みなどは、子どもたちとお弁当を食べるのですが、カップめんや菓子パン1個という子どもが、毎年何人かいます。たまにはではなく、毎日となるとさすがに心配になり、さりげなく保護者の方に伝えるようにしていますが、事情があり、強くは言えません。子どもたちの「食」は基本的に家庭にあります。市の活動、取組に要望するならば、学校や学童の指導よりも、保護者を対象とした家庭での成長する子どもたちの「食」の重要性に対する知識や、インスタント食品の添加物や砂糖や塩のとりすぎによる将来の体への影響などを広げていってほしいと思います。</p> <p>・働く忙しい母親が毎日食事に気を使いバランス良く、子ども達に食べさせているか？ 実は家庭の食事が大切だと思う。 ・食わずぎらい、食べものを粗末にする子が多い。</p> <p>朝食を何かしら(菓子パンなど)食べている児童は多くなっているが、1人で食べている児童は増えている。また手作りのものを食べることも少なくなっていて、家族での外食が増えている。子どもたちだけに声を掛けるのではなく、保護者にも伝えて行くべきと思う。</p> <p>子ども達の食に対しての好き嫌いがあったり、あまり食べずにおやつばかりを食べてしまうといったこともあるので、日頃どうしていったらよいか悩んでいます。食の大切さを子ども達へもっと伝えていくためには職員としてどのようにしていけたらよいか学べる機会があったらと思っています。</p> <p>家庭の食事内容がわからない。食べる物の偏りを感じる。</p>
マナー	<p>・冷凍食品の普及でお弁当作りは(保護者にとっても)楽になっている様子だが、日々忙しいためか、毎日同じ内容だったり、食べる子どもへの配慮がなく、愛情が感じられないこともある。また、食べることについての家庭のしつけができていなく、立ち歩いてしまう。机にひじをついてしまう、大きな声で話す、ゲップをわざとするなど食べることの大切さが、子どもたちから感じられないことが多い。</p> <p>・クラブでは、「おやつ」の提供をしています。おやつ(間食)の話をしたり、また、マナーについてはよく話しをしています。(おやつの内容・食べ方・片付け・楽しみ方)</p> <p>姿勢を正しく、箸を正しく持つこと、又、食べ物が口に入っている時は口を閉じて良く噛んで食べるように取組んでいます。</p> <p>食べ物を粗末にしない。食べ物で遊ばないという事は日頃から注意しています。</p>
教材	<p>研修後、「食育かるた」「野菜のカード」を配布していただき遊びの中で楽しみながら食育の一部につながっています。遊びを通して学べる教材を配布していただくと嬉しいです。今後も、ご指導をよろしくお願いたします。</p> <p>以前いただきました「食育かるた」を活用し遊ばせながら食に関心を持ち、知識を身につけている子どもたちがいます。又、今年の夏休みは「あつまれ全日本ごとうちグルメ</p>

カテゴリ	記載内容
	<p>さん」を参考に指導員がカルタをつくり、毎日少しずつ紹介し覚えていきました。今でも人気のカルタあそびとして当学童では定着しています。</p> <p>食べることの大切さ、食べられることの有難さを伝えることができたなら、少しでも好き嫌いを減らせるのではないかと思います。伝える手段として、例えば、今の子どもたちが受け入れ易い映像として現実味があり、わかり易く編集されたDVDがあれば、長期休みなどを利用して子どもたちに見せることもいいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつ提供の際でも“食べず嫌い”が多い。また、見ただけで好き嫌いを区別してしまう子どももよくみられる。その都度「食べてごらん」「おいしいよ」等、声かけをしています。 ・「全日本ごちそうグルメさん」という本、子どもたち大好きです。何かおもしろい絵本とかも“食育”に役立つものもあるかな、と思います。
アレルギー	<p>バランスも考えいろいろ出しているが、アレルギーがあったりとむずかしいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーを持つお子さんも出てきて、対策が難しい。除去食の安価な購入ができるとう助かる。 ・アレルギー申請書を入室時に全員提出してもらい、アレルギーの把握をしている。 ・最近、冷凍食品、市販の惣菜を食することが多い子ども達、濃い味になれてしまい味覚異常にならないか心配。また、アレルギー症状があるため、不可欠な栄養素を摂取できない子どもなど、将来的にどうなるのか不安材料がいっぱいである。 ・クラブ室で毎日提供しているおやつの際、アレルギー対応に充分配慮している。同時に、除去食材を探すことの困難も感じる。 <p>アレルギーのお子様、宗教上食べられない食材のあるお子様など、多様化している為、一律のおやつ提供の難しさを感じている。</p> <p>近年アレルギーに対しての対応が増えています。好き嫌いと思っているとアレルギーだったという事もあり、むずかしさも感じています。子ども自身が食事おやつに対して「好き、嫌い」だけではなく、興味を持てるような活動があれば、知りたいと思っています。</p> <p>アレルギーの子が増えてきている中、おやつを用意やメニューの配慮などが難しくなっている中で、クラブでの食の扱いに四苦八苦している。行政の側と協力して、何か取組が出来ると良いと思う。</p>
いっしょに食べる	<p>クラブの子は保護者の帰りが遅く、1人でご飯を食べている子もいます。クラブではにぎやかに楽しく味わって食べられたらいいなと思います。また、自分で作る力や食への関心もてるよう、取り組んでいきたいです。</p> <p>学童の子供たちにとって、おやつ時間というのはとても楽しみにしている時間です。人と食事をするということは、心身共にとても素晴らしい時間だと感じています。おやつ以外にもお弁当がある日は、周りの子に影響されとてもよく食べ楽しい会話を子どもたちの中で楽しく話しています。“食”というものは、子どもたちにとって本当に大切な事だと日頃感じ大切にしています。</p> <p>美味しい物をみんなで（誰かと）共有できることの喜びは1人を味わってみないと気付けないのかなあーと思います。集団生活ですので（マナーや作法も大事ですが）、少々の無作法や無礼はその楽しさ故と思っています。</p>
感謝	<p>食物のありがたみについて、日々指導をしている。</p> <p>楽しく食べることに重点を置いています。おしゃべりの度が過ぎる時もありますが、その都度、注意をしています。たくさんの人の手を経て、食べ物があることを折にふれて話しています。</p>
市の地の物	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市の「地のもの」がよくわからない。おやつに提供できるさいたま市の地のものを知りたい。

カテゴリ	記載内容
	<p>・地域の農家等への紹介などしてもらいながら、事業に取り組めると効果もあり楽しいと思いました。</p> <p>・アトピー疾患の子どもに偏食が多くみられる傾向がある様を感じる。・手作りおやつを多く心がけている。・夏休み等、見学(社会)をかねて農家さんの見学(体験)ができればいいです。(是非やってみたいです。)</p>
ボランティア	<p>・食育ボランティアの皆様は2年連続でご協力をいただき助かっています。今後も引き続きお願いしたい。</p> <p>児童クラブでは、日常は、おやつを提供がありますが、食事の場面は、学校休業日のお弁当の時間です。子どもたちに食育活動を行うとすれば、食の大切さについて、ボランティアさんにお話しいただけるとありがたいです。また、保護者向けに、保護者懇談でお話しいただく方法もあります。</p>
あいさつ	<p>学校から帰り、児童クラブで友だちと一緒におやつを食べる時、子どもたちはとても楽しそうな表情をしています。おやつ時間は、子どもたちがリラックスし、のんびりできる時間だと感じています。クラブでは、食前・食後のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」をきちんとすること、また献立について説明することで食に関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。</p>
バランス	<p>子どものうちから食に関心を持ち、バランスのとれた食事や体によい食べ方を身につけることで、年を重ねた時の健康にもつながっていくと考える。クラブでの食品の提供はおやつが主となるが、安全で栄養バランスのよいものを心掛けていきたい。</p> <p>バランスよく食べる、というのは難しいですね。また身体のために、と考える意識も、同じ家庭内であってもそれぞれ温度差があるので、作っても食べてくれない悩みがあります。</p>
クッキング	<p>児童とクッキングとしておやつや昼食を計画的に行っています。材料をこんだてに応じて用意、買い物に行き作る。作る過程も勉強しています。</p>
食への関心	<p>年々、食に関して関心が薄い子が多くなってきている</p>
好き嫌い	<p>最近の子どもは好き嫌いが多すぎると思います。</p>
衛生	<p>・衛生面には十分配慮し、賞味期限等は複数で確認し合い事故を防止する取組をしている。</p>
固い物	<p>最近固いものを食べず、あごが弱くなっている傾向があるので、おやつであえてスルメ、固焼きせんべいなどを出している。</p>
その他	<p>今後とも子どもたちに食育に関しての内容、大切さを伝えて行きたいと感じています。</p>

IV 考察

・「さいたま市5つの『食べる』」について、約8割の施設が「言葉は知っているが、内容は良く知らない」「まったく知らない」であった。これは、放課後児童クラブにはこれまでポスターや普及啓発用品の送付は行っていたが、食育推進計画自体を伝える機会が少なかったためと考えられる。今後は、改めて計画の内容を知ってもらうことが必要である。

・各施設での食育活動を平成20年度の結果と比較すると、各項目とも増加していた。特に「いっしょに食べる」、「食事の前後に手洗いや身の回りを清潔にする」、「いただきます、ごちそうさまなどのあいさつ」は多くの施設で取り組まれていた。一方で、「朝食をはじめとする、三食食べる習慣を身につける」、「地元のおいしい食材を知る」はほとんど取り組まれていなかった。

これは、放課後児童クラブで日常的に行う食に関する活動としては、おやつを提供や長期休暇中の昼食に限られているためと考えられる。

今後は、児童や保護者に朝食の大事さやさいたま市の農産物についての情報提供を行うことが必要である。

・今後の食育に必要な支援について、「1 食育教材の提供」、「2 他クラブでの食育取組事例」があった。

これは、放課後児童クラブは『保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供』*することが目的であるため、食育を主目的とした活動は、人的にも技術的にも難しいことが考えられる。一方では自由記載欄に朝食摂取や家庭での食に関する意見があった。

そのため、今後は、各クラブが行える範囲で食育ボランティアの派遣や食育活動事例の紹介を行いたい。

※厚生労働省「放課後児童クラブガイドライン」より

VI 調査票

<p style="text-align: center;">-送付・問合せ先-</p> さいたま市保健福祉局 保健部 健康増進課 保健係 小野・小林 宛 FAX 048-829-1967 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 TEL 048-829-1294 平成 26 年 6 月 27 日(金) 〆切		<p style="text-align: center;">送付元</p> 所在地: _____ 区 施設名: _____
--	--	---

放課後児童クラブにおける食育に関するアンケート(お願い)

質問ごとに当てはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。

※ 調査票の回答は、放課後児童クラブ長(施設長)にお願いいたします。
 なお、質問では「放課後児童クラブ」について「クラブ」と表記しています。

1 貴クラブの状況をお伺いします

問1 貴クラブの設置主体について(1つに○)

1 公設(事業団)	2 民設
-----------	------

問2 クラブの児童数について (平成 26 年 6 月 1 日現在)

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
児童数						

2 さいたま市の食育推進についてお伺いします

問3 右下 さいたま市の食育推進の目標「さいたま市 5つの『食べる』」を知っていますか(1つに○)

1 食育に活用している 2 言葉も内容も知っている 3 言葉は知っているが、内容はよく知らない 4 まったく知らない	<p style="text-align: center;">-さいたま市 5つの『食べる』-</p> さ 「三食しっかり」食べる い 「いっしょに楽しく」食べる た 「確かな目をもって」食べる ま 「まごころに感謝して」食べる し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる
---	--

問4 下記のうち、現在貴クラブで行われている活動はありますか(当てはまるものすべてに○)

- 1 朝食をはじめとする、三食食べる習慣を身につけること
- 2 よく噛んで食べること
- 3 バランスのとれた食事を心がけ、いきいきと活動できる身体をつくること
- 4 食事づくりや準備など、手伝うことを楽しむこと
- 5 食事をいっしょに楽しく食べ、人とのつながりを深めること
- 6 食事の前には手洗いや身の回りを清潔にすること
- 7 食の安全のための知識を身につけること
- 8 「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつを習慣とすること
- 9 自然の恵みや、食事ができることなどへの感謝の気持ちをもつこと
- 10 食事に関するごみの減量や資源分別をすること
- 11 地元のおいしい食材や料理を知ること
- 12 行事食や地域の伝統食などの食文化を伝えていくこと
- 13 特になし

3 貴クラブにおける食育活動についてお伺いします

問 5 今後、貴クラブの活動の中に食育を取り入れる場合、必要な支援はありますか(当てはまるものすべてに○)

- 1 食育教材の提供
- 2 他クラブでの食育取組事例の紹介
- 3 研修会の開催
- 4 ポスターの配布
- 5 リーフレット等の普及媒体の配布
- 6 食育ボランティアの派遣
- 7 地域の農家や食育体験施設の紹介
- 8 その他()
- 9 特になし

問 6 その他、食に関して日頃感じていることや課題、取組、意見等がありましたらご記入ください

御協力ありがとうございました。FAX または郵送にて御返送ください。